1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年6月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673100105
法人名	有限会社 タンポポ福祉館
事業所名	グループホーム タンポポ福祉館
所在地	鹿児島県鹿児島市春山町1855番7 電話 099-278-7110
自己評価作成日	令和6年4月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年5月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の方々と協力して地域の行事にも積極的に参加し、皆で地域を盛り上げていきたいと思っています。これからも地域に根ざしたグループホーム作りを目指していきたいと思っています。安心してながく生活していただける様にその人らしい生活を送れる環境作りを目指していきたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は2ヶ所のかかりつけ医と訪問診療や24時間医療連携体制を築いて適切な医療が受けられるよう取り組んでいる。家族の意向に沿ってかかりつけ医と連携し看取り介護にも取り組んでいる。
- ・当事業所は、コロナ等の感染予防対策のため地域との交流は制限されているが、近隣住民からの野菜の差入れがある等の近所づきあいは継続している。運営推進会議でも近隣の高齢者の近況を気遣う意見がだされ、地域に根ざした事業所となっている。
- ・管理者・職員は、居室面会や外食・外出の再開などで家族との交流を支援し、細やかな関係が途切れないように取り組んでいる。今後より一層利用者を身近に感じてもらえるよう、運営推進会議に提供している行事や誕生会の食事状況の写真を家族にも送付予定である。
- ・管理者は、勉強会や研修で職員の質向上を図り、休暇取得など職員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員、従業員の経験にムラがあり全てを理解、実践しているとは限らないと思われまのでこの機会を利用して皆で協力、実践していけるように情報の共有、研修を重ねていきたいです。	理念をリビング及び事務室に掲示しており、職員は各自で確認してケアに当たっている。ケアの振り返りを毎月ミーティング時に実施し、全員で共有して実践に繋げるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍の中、現在は運営推進会議の時しか地域との交流は持てていない状況です。近所の方からの野菜の差し入れがあり、とても助かっています。	運営推進会議時に地域行事等の情報は得ているが、コロナの感染予防のため地域との交流は控えている。近隣住民からの野菜の差し入れがあり、近所づきあいで交流は継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	施設内での行事への参加や誕生会などの食事光景をプリントアウトして運営推進会議の時、地域の皆さんにも披露しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の場を生かして現在の地域活動を報告してもらい施設側から色々と協力できる場がないか助言指導等を頂き検討していきたいです。	2ヶ月毎の運営推進会議を開催し、事業所の状況報告及び意見交換を実施しており、地域行事や利用者の近況等の情報交換の機会となっている。今後、意見をサービス向上に活かせるよう議事録の整備に取り組む予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	認知症が進むにつれて介護の大変さが増えてきてますので地域包括支援センターとの報告や連絡を密に取り家族や入居者の負担軽減に努めています。	支所の介護保険及び生活保護担当者とは、申請や相談に出向いて連携を図っている。地域包括支援センターとの連携も密にとり、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は1件も見受けられませんでした。しかし言葉による身体拘束が見られた事が残念でした。相手の立場に立って介護をすれば、いい介護ができるはずなのだと思います。皆で取り組みたい課題が出来ました。	指針があり、委員会を開催している。研修は年2～3回実施し、スピーチロックに気づいた時は管理者から注意を促しており、今後は研修に取り上げて検討することになっている。玄関は危険防止のため施錠しているが、外に出たい利用者には職員が散歩に同行するなど、行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者からの職員に対する暴力があります。その点の対応の仕方やどうしたら防げるのかを皆で検討して見る必要があります。業務よりも安心、安全を重視する方法を考えましょう。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に参加された方の研修資料をもとに皆で情報共有してこれからの介護に活かしていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時契約書はどちらにとっても重要な契約ですのでよく読み、よく説明し、疑問点が残らないように後からでも説明を聞きましょう。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者や家族との連絡を取り意見、要望を直ぐに実行するように心掛けています。</p>	<p>日常会話で本人の要望を聞き、家族の協力を得て対応している。家族には電話や面会時に要望を聞き、対応に努めている。家族の要望で、運営推進会議時に提供している行事の写真を家族にも送付する予定である。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の高齢化や介護者不足などの意見や要望が出た時点で直ぐに代表者に報告して運営業務に反映できるように報告しています。</p>	<p>管理者は、申し送りやミーティング時に職員の意見を聞いており、ケアに関する意見はその都度検討してケアの統一を図る他、必要に応じて家族にも協力を依頼して反映できるようにしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>これから先、職場環境や勤務状況が益々厳しくなると思われるので職員個々の努力や実績を思いやりを持って安心、安全に働ける様に、経営者とも連絡を取り合っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回のミーティングになるべく多くの職員に参加してもらい勉強会や研修で個々のスキルアップを目指しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今まで同業者との研修やイベント等相互訪問はなく自分のグループホーム内の交流だけに携わっていますのでこれから先同業者との交流も必要になってくると思われます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを提供するにあたり本人の希望、家族の要望を介護計画に反映してこれから先の人生のケアプランを作成する必要があります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の困りごとにも対応しながらも本人の意見を第一に本人らしくこれから先の人生を有意義に送ってもらえるように連絡を取りながら不安を取り除いていきたいです。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず最初に取り掛かからなければならぬ問題を見つけてその問題を解決した上で次に出てくる問題を整理しサービスの提供を考えていかなければなりません。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	グループホームという屋根の下で一緒に暮らす家族という観点から個人の持つ能力を發揮できるように職員共々親しい関係作りを目指していけたらいいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の言葉に耳を傾けて、何をしたいのか、何を言いたいのかを理解する努力が必要になります。そうすることで信頼関係ができてくる感じがします。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者も、たまには、外部の家族や友人と会話したい時があると思うのでその時を大事に、連絡を取り、話すことで気分転換をはかる事が出来ると思います。	家族・友人・知人との面会を支援し、家族との外食・外泊も再開している。家族対応の馴染みの美容室へも行く等、馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なるべく個人を大切に無理のない関わり方をしていけたらストレスにならずにお互いに支えあえる関係を持てる様になると思います。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族の経費不払いが原因で退所することがないように本人、家族共々、解決のための努力を考えていかなければなりません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	認知症が進んだ入居者さんには傾聴と笑顔で接する事で相手に安心感を与えてジェスチャーを交えて会話をしています。	日常会話で本人から希望などを話される場合も多くあり、内容によっては家族の意見を聞きながら対応に努めている。困難な場合は、家族からの情報を参考に本人の様子を見て推測している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その人の生活歴や生活環境や携わってきた仕事を知ることによりその人の人生が見えてくるので情報収集は、その人を知るうえで大事になってくると思います。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	かかりつけ医との協力で薬の効果、副作用がないかの把握が身近に接することが多い職員間で共有できるようにして、訪問診療時に医師との現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状に沿った介護計画は携わる職員に意見を求めることができますが家族との話は、電話や面会に来られた時を利用して話を聞いたりしています。	電話や面会時に家族の希望を聞き、日常業務の中で出された職員の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎及び状況変化時に現状に合った介護計画に見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の入居者の行動を把握することでチョットした行動、健康状態の変化が分かるように始業前に顔色を確認していつもと違う場合はすぐその場でバイタルチェックをかかさず行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者の健康状態や行動や様子がいつもと違う状態を発見した時は、訪問診療を待たずにすぐにかかりつけ医に相談して適切な治療を受けられる様にしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在のところ地域資源の発掘をしてどのように生かせるかを検討しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	直ちにアクシデントを発見し、かかりつけ医との早急な連絡を取り合って適切な治療を受けられる体制を、取っております。	契約時に確認し、希望するかかりつけ医の受診を支援している。月2回の訪問診療や家族対応の受診もあり、適切な医療が受けられるよう支援している。他科受診で職員が対応した場合は結果を家族に報告している。歯科は往診もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>まずは1時救命に心掛けバイタルチェック、応急処置ができるように事前に資料を準備しています。職場に看護師がいないので、かかりつけ医に連絡を取れるように連絡先を見やすい場所に掲示してあります。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居者が入院、治療を受ける際、必要な薬手帳、介護保険証、などして事故報告を行なうなどして早急に治療が行われるように対応しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階で看取りについても入居者や家族との意見を共有出来るように取り決めておき、看取りに関する気持の変化にもその都度確認を心掛けています。</p>	<p>契約時に、重度化等の場合の対応について選択肢も含めて説明し、同意書をもっている。重度化の場合に主治医から家族に病状を説明し、家族の意向を確認している。食事摂取が困難になった時点で主治医と話し合い入院を選択することもあり、家族の意向に沿って看取り介護を含めた支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎月のミーティングにより急変時の対応や1時救命、応急手当について勉強会で学んでいます。訓練や実践を行なう機会がないので忘れないように定期的に行っていきたいです。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>現在災害対策として早急にBCPを立ち上げる準備にとりかかっている状況です。BCPをもとに災害に対応出来るシステム作りを完成させる必要があると考えています。</p>	<p>年2回昼想定避難訓練を実施し、消防署の立ち合いを1回受けている。毎月1回昼夜想定自主訓練も実施している。訓練については運営推進会議時に周知している。非常用の備蓄は、水・米・缶詰・インスタント食品等の食料と、カセットコンロを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者一人一人の尊厳や思いを大切に、その人に合った声掛けが出来るように介護者皆で取り組んでいきたいと思っています。</p>	<p>研修を実施し、その人に合わせた言葉遣いに努めている。さん付けでの呼びかけや入室時・ケア前の声掛けを行い、排泄介助時の声掛けや職員間の情報交換・申し送りは、他の利用者にはわからないようにしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>家族と連絡を取ってもらい家族の出来る範囲で外出、買物、病院通い等を一緒にして貰ってコミュニケーションに役立っています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>レクリエーションなど皆で一緒に歌ったりせずに、個人の自由に任せています。その場その時の本人の意思を大切にその人らしさを大事にしています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ながく入居しているとサイズが合わなくなったり、ファッション性が合わなくなったりするので家族に相談して本人に決めてもらう様にしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に同じ食事を取る事で何か食べたいものがありますか？味は濃くないですか？など情報収集をして次のメニューや味付けに活かしています。	献立は職員が作成し、旬の物をミキサー食など個々に応じた食事形態で提供している。利用者も一緒にテーブルやお盆拭きをしている。誕生日の特別メニューや行事食などで食事を楽しんでもらえるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量が排泄と深く関わってくるので一人一人の食事量を把握して食べきれぬ食事量を提供するように考えています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	残っている残歯を大切に使えるように食後は歯磨きをして、よく噛んでゆっくり食事を楽しんで貰っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗よりも排泄の楽しさを実感出来るようになるべく自然便に近い状態に持っていけたらいいと思っています。	日中は時間を見て声掛け・誘導し、トイレでの排泄を基本に支援している。リハビリパンツとパットが主であり、個々に適したものを使用している。身体状況に合わせて、夜間のみポータブルトイレやオムツを使用する利用者もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便チェックを行い、排便コントロールが上手くいくように時には、下剤を使用して本人の悩み事を無くしてあげています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴で気持ちも身体も綺麗にリフレッシュ出来る大事な時間です。各人の好みに応じた対応を心がけています。	週3回午後に入浴支援をしております、希望や身体状況により浴槽利用やシャワー浴・足浴を行っている。汚染時はシャワー浴で対応し、保清に努めている。嫌がる場合は、声掛けを工夫して対応し無理強いはしていない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ストレスや心配事があれば、なかなか眠れないものです。眠れない原因を考えて安心して眠りに入れるように話を聞いてあげています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬状況が分かる様に一人一人の手のひらに薬をおき、落とさないように確認しながら水と一緒に飲むようにしています。薬を飲んだ後の、具合もチェックをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人一人の個性、嗜好をたいせつに、みんなと一緒にを避けるようにして、自主性を大事にしています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>駐車場の近くに咲いている桜を見るだけでもとてもいい気分転換になって良かったと思います。</p>	<p>天候の良い日は、庭先での日光浴や花見、近隣を散歩している。家族の協力で外食や外出をする利用者もあり、今後、年間計画を立てて外出支援に取り組む予定である。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>今のところ、お金を使う所や出かける所ありませんでした。入居中お腹や喉が乾くこともありますので、自動販売機等を設置したらいいと思われますので検討してみたいと思います。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙は外部との大切なコミュニケーションになり、本人の安心感の維持にとっても役に立ちます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の思い出になる歌謡曲や演歌、童歌、など昔を懐かしみ口ずさめるような歌を流したりして、心の拠り所を大切にしています。</p>	<p>リビングは天窗があり明るく、加湿器やエアコンで適度な室内環境に調節されており、窓を開閉して換気を行っている。季節の作品を飾って季節を感じてもらったり、車いすの動線を確保した家具の配置等を工夫し、安全で居心地よく過ごせるようにしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>お茶の時間をゆっくり取ってもらい、周りの人とも経験談や身の上話などができるようになっています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>部屋の広さから沢山持ち込まれる人は少ないです。物が多いとかたづけが大変だと分かっておられます。だんだん物が増える方も一人位はいます。</p>	<p>居室には、ベッドやクローゼット・エアコンが備えてあり、本人が使い慣れた寝具やテレビ・衣装箱を持ち込んだり、遺影・写真・作品等を飾り、安心して過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>補助具を使うことは、とても大切なことです。たまに調子がいいときは使うことを忘れる事もあります。そんな時程、注意、見守りが大切になってきます。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		☒	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	☒	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		☒	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		☒	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		☒	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	☒	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	☒	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	☒	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		☒	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	☒	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	☒	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	☒	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	☒	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない